令和６年度

学校推薦型選抜学生募集要項

福　岡　教　育　大　学

https://www.fukuoka-edu.ac.jp

新型コロナウイルス感染症の状況等により，試験日程，試験内容等が変更になる可能性があります。変更がある場合は，本学ホームページ等でお知らせします。

出 願 方 法 に つ い て

出願方法は「インターネット出願」のみとなります。なお，インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に，次の３点の手続を必ず完了する必要があります。

・インターネットを利用した出願登録
・検定料の支払い
・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合，受験できませんので十分ご注意ください。
なお，出願に必要な書類等は出願期間内に到着する必要があります。
出願の流れは以下のとおりです。

１．事前準備
学生募集要項を確認し，調査書，顔写真データ等の必要書類を準備しておく。
→
２．出願サイトにアクセス
本学ホームページからアクセス（https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/）
→
３．マイページの登録
画面の手順に従い，必要事項を入力してマイページ登録を行う。
→
４．出願内容等の登録
画面の手順や留意事項を確認し，画面に従い，必要事項を入力する。
→
５．検定料の支払い
４で選んだ支払い方法に応じて検定料を払い込む。
→
６．必要書類の印刷と郵送
出願登録・検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し，その他必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送する。
→
出願完了
→
７．受験票の印刷
本学ホームページにて受験票の印刷が可能になったことを確認し，出願サイトにて受験票を印刷する。
※試験当日必ず持参すること。

※出願に必要な書類等について，学校推薦型選抜Ⅰは６ページ，学校推薦型選抜Ⅱは２１ページを確認してください。

※受験票は，本学ホームページにて試験の１週間前までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので，出願サイトで各自印刷のうえ，試験当日持参してください。

◎令和６年度入学者選抜試験に係る入学検定料の特別措置について

本学では，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，次のとおり入学検定料免除の特別措置を実施します。特別措置を希望される志願者（保護者等を含む）は，インターネット出願前に必ず入試課までご連絡ください。

１　免除の対象者
　令和３年４月以降に発生した大規模災害における災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する方
　（１）志願者又は志願者の主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊若しくは流出した，又は大規模半壊，半壊若しくは床上浸水した場合
　（２）主たる学資負担者が死亡または行方不明の場合
２　申請の方法
　市町村等が証明し発行する「罹災証明書」（写し可）等，必要な書類がありますので，申請の際には本学のホームページをご確認ください。
３　その他
　（１）入学料・授業料については，申請により免除又は徴収猶予されることがあります。入学手続き時に，別途申請手続きが必要となります。
　（２）調査書が得られない場合には，卒業（見込）証明書又は成績通信簿等を提出することで代えることができます。

【本学ホームページ：入学検定料の特別措置】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/r_fee/index.html

◎連　絡　先　　　福岡教育大学入試課　　　TEL　０９４０－３５－１２３５

目　　次

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

Ⅰ　募集人員・試験日程等
１．募集人員 ---------- 1
２．試験日程等 ---------- 2

Ⅱ　学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
１．出願要件等 ---------- 3
２．出願期間 ---------- 5
３．出願手続
（１）出願に必要な書類等 ---------- 6
（２）出願及び受験に際しての注意事項 ---------- 7
４．入学者選抜方法等 ---------- 8
５．小論文，実技検査，面接の評価の観点 ---------- １４
６．試験期日，時間割 ---------- １５
７．試験場 ---------- １６
８．合格者発表 ---------- １６
９．入学手続 ---------- １６

Ⅲ　学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）
１．出願要件等 ---------- １７
２．出願期間 ---------- ２０
３．出願手続
（１）出願に必要な書類等 ---------- ２１
（２）出願及び受験に際しての注意事項 ---------- ２２
（３）大学入学共通テスト受験番号の登録方法 ---------- ２３
４．入学者選抜方法等 ---------- ２５
５．小論文，実技検査，面接，口頭試問の評価の観点 ---------- ２９
６．試験期日，時間割 ---------- ３１
７．試験場 ---------- ３２
８．合格者発表 ---------- ３２
９．入学手続 ---------- ３２

Ⅳ　共通事項
１．障害等のある入学志願者の事前相談について ---------- ３３
２．一般選抜への出願について ---------- ３４
３．入学料・授業料 ---------- ３４
４．入学の辞退 ---------- ３４
５．注意事項 ---------- ３４
６．ノートパソコンの必携（BYOD）について ---------- ３４
７．入学者選抜試験個人成績の開示について ---------- ３５
８．試験に関する問い合わせ先 ---------- ３５
９．推薦書・志望理由書記入上の注意（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱとも共通） ---------- ３６
１０．競技歴調査書の「特技種目の競技歴」記入上の注意等について ---------- ３７
１１．個人情報の利用について ---------- ３９
《参考》過去３年間の学校推薦型選抜状況 ---------- ４０
◎大学所在地　【交通機関】　【周辺道路地図】
◎福岡教育大学キャンパス・マップ　　福岡教育大学各種お問い合わせ先

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は，教員養成の広域拠点大学として，これからの学校教育において，さまざまな課題の解決等に率先して取り組むことのできる教員，具体的には，

・幼児・児童・生徒の発達，自律を支援できる教員

・義務教育段階での学習の流れを見通すと同時に，幼児・児童・生徒との相互のコミュニケーションを活性化させ，深い学びへ導くことができる教員

・幼児・児童・生徒の発達を理解するとともに，個々の子どもを客観的に理解できる教員

の養成を使命としています。そのために学士課程においては，学校教育現場において求められる，１）幅広い視野と豊かな教養，２）高い専門性，３）確かな実践力を培い，各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。これらを実現するために本学では，各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に習得するカリキュラムを編成しています。

＜福岡教育大学では，次のような人の受験を期待します。＞

◎教員を目指す強い意志と情熱をもち，子どもの発達や学習の支援，子どもの様々な行動のマネジメントなどに対する関心があり，主体的・積極的に，さらには多様な人々と協働して，教員となるために必要な学修に取り組むことができる人。

◎高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同様。）の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに，それらを活用して，論理的に思考し，判断し，さらに自分の考え等を他の者に対して説明するなどの表現力があると同時に，課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。

さらに，中等教育段階の教員（特別支援学校を含む。）を目指す場合は，教員となって担当しようとする教科，科目に関する学力を十分に身に付けている人。

◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え，組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。

＜福岡教育大学の入学者選抜では，次のような力を評価します。＞

【初等教育教員養成課程】

◎幼児教育プログラム

・「学校推薦型選抜Ⅰ」では，大学入学共通テストは利用せず，個別学力検査等において，「小論文」と「面接」を課します。「小論文」では，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，教職への意欲等を評価します。また，「面接」においては，教職への意欲，大学での学修への意欲や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，表現力，コミュニケーション力等を評価します。「面接」では，高等学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書も活用します。高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」及びすべての教科・科目の３年間の成績が一定以上であ

ること，及び３年間を通して主体的・協働的活動を行っていることを出願要件とし，選抜は，「小論文」及び「面接」の成績により行います。

◎小学校教育専攻プログラム

・「学校推薦型選抜Ⅰ」では，大学入学共通テストは利用せず，個別学力検査等において，「小論文」と「面接」を課します。「小論文」では，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，教職への意欲等を評価します。また，「面接」においては，教職への意欲，大学での学修への意欲や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，表現力，コミュニケーション力等を評価します。「面接」では，高等学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書も活用します。高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」及びすべての教科・科目の３年間の成績が一定以上であること，及び３年間を通して主体的・協働的活動を行っていることを出願要件とし，選抜は「小論文」及び「面接」の成績により行います。

◎人文・社会教育プログラム，理数教育プログラム，芸術・実技教育プログラム

・「学校推薦型選抜Ⅱ」では，大学入学共通テストを課し，「前期日程・後期日程」と同様，「人文・社会教育プログラム」においては，大学入学共通テストの「外国語」，「国語」及び「地理歴史・公民」を，「理数教育プログラム」においては，「外国語」，「数学」及び「理科」を傾斜配点します。個別学力検査等においては，すべてのプログラムにおいて，「小論文」と「面接」を課し，「小論文」では，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度や教職への意欲等を評価します。「面接」では，教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度やコミュニケーション力等を評価します。「面接」では，高等学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書も活用します。さらに「芸術・実技教育プログラム」においては，「実技（音楽）及び音楽理論」，「実技（美術）」，「実技（体育）」，「口頭試問（家庭）」または「口頭試問（技術ものづくり）」を課し（受験者は５つの中から１つを選択して受験します。），芸術・実技教育分野への適性，資質，能力等を評価します。高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」及びすべての教科・科目の３年間の成績が一定以上であること，及び３年間を通して主体的・協働的活動を行っていることを出願要件とし，選抜は，大学入学共通テスト，「小論文」，「面接」，「実技」または「口頭試問」の成績により行います。

【中等教育教員養成課程】

・「学校推薦型選抜Ⅰ」では，大学入学共通テストは利用せず，個別学力検査等において，専攻ごとの特性を生かした実技検査やその理論に関する科目等を課します。また，「小論

文」や「面接」または「面接（口頭試問を含む。）」を課します。「面接」では，思考力・判断力・表現力と同時に教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接（口頭試問を含む。）」では，当該の専攻の教科等の内容に関する高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力と同時に教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接」及び「面接（口頭試問を含む。）」では，高等学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書も活用します。高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上であること，及び３年間を通して主体的・協働的活動を行っていることを出願要件とし，選抜は，実技検査や面接等の成績により行います。

・「学校推薦型選抜Ⅱ」（中等教育プログラム家庭専攻）では，大学入学共通テストを課すと同時に，個別学力検査等において，「面接（口頭試問を含む。）」を課します。また，「面接（口頭試問を含む。）」では，家庭の内容に関する高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力，判断力，表現力と同時に教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接（口頭試問を含む。）」では，高等学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書も活用します。高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上であること，及び３年間を通して主体的・協働的活動を行っていることを出願要件とし，選抜は，大学入学共通テスト，「面接（口頭試問を含む。）」の成績により行います。

【特別支援教育教員養成課程】

◎特別支援教育初等教育プログラム

・「学校推薦型選抜Ⅱ」では，大学入学共通テストを課すと同時に，個別学力検査等において，「面接（口頭試問を含む。）」を課します。「面接（口頭試問を含む。）」では，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力と同時に教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接（口頭試問を含む。）」では，高等学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書も活用します。高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上であること，及び３年間を通して主体的・協働的活動を行っていることを出願要件とし，選抜は，大学入学共通テスト，「面接（口頭試問を含む。）」の成績により行います。

Ⅰ　募集人員・試験日程等

１．募 集 人 員

課　程	プログラム・専攻等		募集人員 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	募集人員 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		８名		
	小学校教育専攻プログラム		２４名		
	人文・社会教育プログラム　（注１）			１０名	
	理数教育プログラム　（注１）			１５名	
	芸術・実技教育プログラム（注１）（注２）	（音楽系科目）		４３名	１０名程度
		（美術系科目）			１０名程度
		（体育系科目）			１０名程度
		（家庭系科目）			８名程度
		（技術ものづくり系科目）			５名程度
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	７名		
		美術専攻	５名		
		保健体育専攻	６名		
		家庭専攻		３名	
		書道専攻	３名		
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム			５名	
合　計			５３名	７６名	

（注１）
- 初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラムでは，１年次から主専攻（小学校教育）について学修し，副専攻については，入学後（２年進級時）に国語領域，社会領域，英語領域のうちから選択して学修します。なお，副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので，希望通りに選択できない場合があります。
- 初等教育教員養成課程理数教育プログラムでは，１年次から主専攻（小学校教育）について学修し，副専攻については，入学後（２年進級時）に数学領域，理科領域のうちから選択して学修します。なお，副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので，希望通りに選択できない場合があります。
- 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラムでは，１年次から主専攻（小学校教育）について学修し，副専攻については，入学後（２年進級時）に音楽領域，美術領域，保健体育領域，家庭領域，技術領域のうちから選択して学修します。なお，副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので，希望通りに選択できない場合があります。

（注２）
- 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラムでは，個別学力検査等において選択する受験科目パターンごとに募集人員の目安を示しています。なお，音楽系科目，美術系科目，体育系科目，家庭系科目，技術ものづくり系科目とは，下表に示す受験科目パターンの区分を指します。

科目パターン区分	学校推薦型選抜Ⅱ	
音楽系科目	面接，小論文	実技検査（音楽），音楽理論
美術系科目		実技検査（美術）
体育系科目		実技検査（体育）
家庭系科目		口頭試問（家庭）
技術ものづくり系科目		口頭試問（技術ものづくり）

２．試験日程等

	学校推薦型選抜Ⅰ （大学入学共通テストを課さない）	学校推薦型選抜Ⅱ （大学入学共通テストを課す）
出願期間	令和５年１１月　１日（水）～１１月　８日（水）**（１７時必着）**	
試験日	令和５年１１月２５日（土）～１１月２６日（日）	
共通テスト成績請求票提出期限(学校推薦型選抜Ⅱのみ)		令和５年１２月２２日（金）まで
合格者発表	令和５年１２月　６日（水）	令和６年　２月　８日（木）
入学手続期限	令和５年１２月２１日（木）必着	令和６年　２月１６日（金）必着

Ⅱ　学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

１．出願要件等

（１）初等教育教員養成課程　幼児教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員は１校につき１名です。）

募 集 人 員	８名
選 抜 方 法	大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文及び面接等により選抜します。 ・配点 小論文　１００点，面接　２００点，合計　３００点
出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が４.０以上の者 ・幼稚園教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

（２）初等教育教員養成課程　小学校教育専攻プログラム（九州地区（九州・沖縄各県）対象の地域創生推薦選抜）

九州地区の高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和６年３月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たす者。さらに，学業成績，人物が優れているとともに，小学校教育についての熱意を持ち，将来，小学校教員に就くことに強い意欲を持つ者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員は１校につき１名です。）

募 集 人 員	２４名（九州地区の高等学校卒業見込みの者）
選 抜 方 法	大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文及び面接等により選抜します。 ・配点 小論文　２００点，面接　２００点，合計　４００点
出願要件・推薦の条件等	・入学時において卒業する高等学校の所在する県で小学校教員となる強い意欲,熱意,適性，資質・能力等を持つ者（本選抜は，各地域の創生には資質・能力の高い小学校教員の円滑な確保が望まれること等を背景として実施するものです。） ・調査書の全体の学習成績の状況が４.０以上の者（３年間を通して全ての教科・科目の評定で３未満のものがないこと） ・高等学校在学中に，学校教育活動として，学校行事，生徒会活動（評価対象：役職ではなく，３年間を通した主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），部活動（評価対象：技能や大会等での成績ではなく，３年間を通した主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

（３）中等教育教員養成課程　中等教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。**また，音楽専攻及び美術専攻については，令和５年３月以降高等学校を卒業した者を含む。**）で，志望する専攻の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員に制限はありません。）

音楽専攻	募集人員	７名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，実技検査及び音楽理論等により選抜します。 ・配点 小論文　１００点，実技検査　５００点，音楽理論　１００点，合計　７００点
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が３．５以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者
美術専攻	募集人員	５名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，作品証明書，実技検査，面接及び美術理論等により選抜します。 ・配点 実技検査　１００点，面接　１００点，美術理論　１００点，合計　３００点
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が３．５以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者
保健体育専攻	募集人員	６名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，競技歴調査書，小論文，実技検査及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。 ・配点 小論文　１００点，実技検査　３００点，面接（口頭試問を含む。）１００点，合計　５００点
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が３．５以上の者 ・陸上競技，バレーボール，硬式野球，ダンス，柔道，剣道の全国大会若しくはブロック大会（九州，中国，四国，関西等の都道府県大会よりも上位に位置づく大会を指す）に出場した者 【※１ ここでの「出場した者」とは，当該大会で実際にプレーしたことを指します。当該大会にエントリーされているだけでは，出願要件を満たしません。】 【※２ ただし，新型コロナウイルス感染症による大会中止等の影響を鑑み，上記と同等の成績を修める競技力を志願者が有していると学校長が判断する場合は，出願を認めます。その場合は，競技歴調査書と併せて，学校長の推薦文を提出してください。（書式は問いません。）】 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者
書道専攻	募集人員	３名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，作品証明書，小論文，実技検査及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。 ・配点 小論文　１００点，実技検査　３００点，面接（口頭試問を含む。）１００点，合計　５００点
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が３．５以上で，かつ「芸術（書道）」もしくは「学校設定科目（書道）」，いずれかの学習成績の状況が４．５以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

２．出願期間

出願に必要な書類等の提出期限
令和５年１１月１日（水）から１１月８日（水）まで**（１７時必着）**
インターネット出願登録期間
令和５年１０月２５日（水）から１１月８日（水）まで**（１７時まで）**

３．出願手続

インターネットを利用した出願方法となります。なお，インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に，次の３点の手続を必ず完了する必要があります。

・インターネットを利用した出願登録
・検定料の支払い
・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合，受験できませんので十分ご注意ください。
なお，出願に必要な書類等は出願期間内に到着する必要があります。

出願の流れは以下のとおりです。

１．事前準備
学生募集要項を確認し，調査書，顔写真データ等の必要書類を準備しておく。

→ ２．出願サイトにアクセス
本学ホームページからアクセス（https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/）

→ ３．マイページの登録
画面の手順に従い，必要事項を入力してマイページ登録を行う。

→ ４．出願内容等の登録
画面の手順や留意事項を確認し，画面に従い，必要事項を入力する。

→ ５．検定料の支払い
４で選んだ支払い方法に応じて検定料を払い込む。

→ ６．必要書類の印刷と郵送
出願登録・検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し，その他必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送する。

→ 出願完了

→ ７．受験票の印刷
本学ホームページにて受験票の印刷が可能になったことを確認し，出願サイトにて受験票を印刷する。
※試験当日必ず持参すること。

◎　検　定　料　　１７，０００円（別途，払込手数料が発生します。）

【注意】払い込まれた検定料は，次の場合を除き返還しません。
①出願書類を提出しなかった場合。
②出願書類が受理されなかった場合。
③誤って二重又は過剰に納付した場合。
これらの場合は，納付した者の申し出により，検定料として払い込まれた額又は過剰に払い込まれた額のうち振込手数料等の実費を除く額を返還します。

（１） 出願に必要な書類等

出願書類等は，次の表のとおりです。①についてはインターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/）からダウンロードしてください。③～⑦については本学所定の用紙を本学のホームページ（https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/recommendation.html）からダウンロードしてください。

【出願書類等の内容】

出願書類等の名称	提出者	摘　　要
①志願票兼出願確認票	全　員	インターネット出願サイトを通しての出願登録・検定料の支払完了後にダウンロードし，印刷してください。
②調査書	全　員	出身学校長が作成し,厳封したものを提出してください。
③推薦書	全　員	本学所定の用紙（※１）により出身学校長が作成し,厳封したものを提出してください。 **※作成の際は３６ページ記載の「推薦書・志望理由書記入上の注意（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱとも共通）」をよく確認してください。（※３）**
④志望理由書	全　員	本学所定の用紙（※２）に志願者本人が記入し提出してください。 **※作成の際は３６ページ記載の「推薦書・志望理由書記入上の注意（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱとも共通）」をよく確認してください。（※３）**
⑤音楽実技検査票（学校推薦型選抜Ⅰ用）	該当者	中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻を志望する者は，本学所定の用紙（※２）により提出してください。
⑥作品証明書	該当者	中等教育教員養成課程中等教育プログラム美術専攻又は書道専攻を志望する者は，本学所定の用紙（※２）により提出してください。複数の作品を提出する場合は１作品ごとに作成してください。 **※作品写真は，現像したもの又はプリンターで出力したもののいずれでも「可」とします。**
⑦競技歴調査書	該当者	中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻を志望する者は，本学所定の用紙（※２）に競技歴を証明する資料を添付して提出してください。（※３） **※作成の際は３７・３８ページ記載の「競技歴調査書の「特技種目の競技歴」記入上の注意等について」をよく確認してください。**

※１　黒のボールペンを用いて楷書で記入，もしくはパソコン等で作成してください。
※２　黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。
※３　③，④，⑦は A4 サイズで両面印刷してください。

【提出方法】

インターネット出願サイトで出願書類提出用宛名シートをダウンロード・印刷し，市販の角形２号封筒に貼付し，出願書類等を入れて，**郵便局の窓口で「簡易書留郵便」にて速達で郵送してください。（１１月８日（水）１７時必着）**

【出願書類等の提出宛先】

〒811－4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学入試課

（2）出願及び受験に際しての注意事項

（ア） 出願について

① 郵送期間等を十分考慮して，**出願期間内に届くよう送付してください。**
（出願期間後に到着した場合は，受理できません。）

② **出願書類等に不備がある場合には，受理できないことがあります。** 郵送する前に必ず記入内容を点検し，提出すべき全ての書類が整っているか確認してください。

③ **志願票兼出願確認票受理後は，住所・連絡先以外の記載事項及び書類の変更を認めません。**

④ 出願後に住所を変更した場合は，志願者であることが確認できるもの（氏名，志望課程・プログラム・専攻等及びインターネット出願時の受付番号または受験番号）を準備し,新しい住所を電話により入試課へ連絡してください。

（イ） 受験票について

① **受験票は，本学ホームページにて試験の１週間前までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので，出願サイトで各自印刷のうえ，試験当日持参してください。**

② **試験当日に受験票を忘れて来た場合は**，試験当日に本学が設置する試験場第１事務室にて，試験開始前までに**「仮受験票」の発行手続きをしてください。**

（ウ）所持品の取扱いについて

① 受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，次のとおりです。

・筆記用具（和歌・格言等が印刷されているものは不可） ・プラスチック製の消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。） ・時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。） ・眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これら以外の所持品を使用又は置いている場合には，解答を一時中断させて，試験終了まで預かることがあります。

② 試験時間中に，次のものを使用してはいけません。

・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具 ・携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

なお,イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請（３３ページ）が必要です。）

（エ）不正行為について

試験中に不正行為等があった者に対しては，受験を停止し，かつ，すべての試験を無効とします。また，悪質な場合は，警察に被害届を提出する場合があります。詳細は試験の１週間前までを目処に本学ホームページに掲載する「受験上の注意事項」をよく確認してください。

（オ） そ の 他

① **本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項について試験の１週間前までを目処にお知らせいたしますので，必ず確認してください。**

② **当該試験開始時刻から２０分経過後の遅刻者は，受験することができません。**

③ 交通事情等を考慮し，余裕をもって試験場に到着するようにしてください。福岡県外からの受験者は特に余裕を持って交通機関等の手配を行ってください。

④ 本学の最寄りのＪＲ教育大前駅には快速列車は停車しません。十分注意し乗車してください。また，必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

４．入学者選抜方法等

大学入学共通テストを利用せず，提出された推薦書，調査書，志望理由書，作品証明書，競技歴調査書及び【別表１】に定める選抜方法等により選抜します。なお，合格者の選考は，次のとおり行います。

（ア）　小論文，各種理論，実技検査，面接等の成績の合計得点順に合否を決定します。

（イ）　合格最低点での同点者は全員合格とします。

【別表１】

課　程	プログラム･専攻		選抜方法等〔【別表２】の①から④も参照〕	配点合計
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		小論文［１００点］，　面接［２００点］	３００点
	小学校教育専攻プログラム		小論文［２００点］，　面接［２００点］	４００点
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	小論文［１００点］，実技検査［５００点］，音楽理論［１００点］	７００点
		美術専攻	実技検査［１００点］，面接［１００点］，美術理論［１００点］	３００点
		保健体育専攻	小論文［１００点］，実技検査［３００点］，面接（口頭試問を含む。）［１００点］	５００点
		書道専攻	小論文［１００点］，実技検査［３００点］，面接（口頭試問を含む。）［１００点］	５００点

【別表２】実技検査を課す課程及びプログラム・専攻等の内容について

課程及びプログラム・専攻等	該当ページ
① 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム　音楽専攻	９～１０ページ
② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム　美術専攻	１１ページ
③ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム　保健体育専攻	１２ページ
④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム　書道専攻	１３ページ

① 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　音楽専攻

【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は，３部門（①視唱，②声楽，③ピアノ）を必ず演奏してください。

①視唱

コールユーブンゲン第１巻，原書 No.1 ～ No.85 までの中から，当日指定したものを演奏してください。

②声楽

下記の歌曲より任意の１曲を選び，暗譜で演奏してください。

・Caro laccio	ガスパリーニ作曲	（変ホ長調）
・Se tu della mia morte	スカルラッティ作曲	（ヘ短調）
・Ideale	トスティ作曲	（イ長調）
・O del mio amato ben	ドナウディ作曲	（変イ長調）

注（ア）歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
（イ）演奏は，原語とします。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

③ピアノ

Ｊ.Ｓ.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の１曲を選び，演奏してください。

・インヴェンション BWV772 ～ BWV786（ただし，BWV772 ハ長調，BWV773 ハ短調，BWV774 ニ長調，BWV775 ニ短調，BWV779 ヘ長調，BWV781 ト長調は除く）
・シンフォニア BWV787 ～ BWV801（ただし，BWV791 変ホ長調は除く）
・平均律クラヴィーア曲集 第１巻 BWV846 ～ BWV869 のフーガ
・平均律クラヴィーア曲集 第２巻 BWV870 ～ BWV893 のフーガ

注（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※下の１．から４．までの４種類の受験方法の中から一つを選択して受験してください。

１．ピアノで受験する者

ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の１曲を選び，その第１楽章又は終楽章を演奏してください。ただし，Op.26，Op.27-1，Op.27-2（第１楽章），Op.49-1，Op.49-2，Op.54，Op.79 は除きます。

注（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

（次のページへ続く）

２．声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオのアリアを含む）を１曲，暗譜で演奏してください。
ただし，【Ｉ】共通音楽実技課題　②声楽で課題として指定した曲を除きます。

注（ア）伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。
提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
（イ）演奏は原語とし，演奏時間は４分以内とします。
（ウ）歌曲の調については自由ですが，オペラ又はオラトリオのアリアについては，原調で演奏してください。
（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

３．管楽器または弦楽器で受験する者

任意の１曲又は，一つの楽章を選び演奏してください。
なお，入試で選択できる楽器は以下の通りです。
フルート，オーボエ，クラリネット（標準サイズＢ♭管またはＡ管），バスーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

注（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）試験の際に伴奏を付けるので，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
無伴奏の場合は，伴奏楽譜の提出の必要はありません。
（ウ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

４．作曲で受験する者

４声体による和声課題（バス課題，ソプラノ課題またはその混合課題とし，非和声音を含む程度）を１題課します。

【試験時間　１２０分】

【Ⅲ】小論文

音楽教育に関する小論文を課します。

【Ⅳ】音楽理論

楽典及び音楽史・音楽理論全般について問う筆記試験を課します。

② 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　美術専攻

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。（静物）

注・**鉛筆，消し具等鉛筆画に必要な用具を持参してください。**
・画架，画板，画紙，画鋲は大学側で準備します。
・はかり棒のみ使用を認めます。

【Ⅱ】美術理論

美術史（日本・西洋美術史及び現代までの美術）を課します。

【Ⅲ】面　接

③ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　保健体育専攻

【Ⅰ】実技検査

【特技種目】

陸上競技，バレーボール，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の種目の中から１種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。

★「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料（例として，新聞・雑誌記事に本人の氏名や写真のあるもの，大会・試合・競技会記録に本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの，あるいは当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書）を添付することが必要です。

新聞記事，写真等の添付資料（※）は，Ａ４版の大きさ（競技歴調査書と同じ大きさ）の用紙に切り貼り，コピー等により作成し提出してください。なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

※新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

注下記の「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

【Ⅲ】面　接（口頭試問を含む。）

◎実技検査受験上の注意

（ア）試技する際に着用するすべてのウエアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ，約1.5cm幅の黒字で受験番号の下３桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△○には受験番号下３ケタを書いてください。 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」 中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・・・「中体○○○」

ただし，次の場合は注意してください。

- 柔道の場合は，背部のみに縫いつけてください。
- 剣道の場合は，袋状のゼッケンを作成し，タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ダンスの場合は，何も縫いつけなくて構いません。

（イ）特技種目で使用するウエア，シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む），剣道具，竹刀，槍，バット（金属可），グローブ等の個人用具は，すべて各自持参してください。

ダンスで特技種目を受験する者は，自由なテーマに基づく創作作品（２分以上２分３０秒以内）を用意し，音楽については，ＣＤ又はＵＳＢメモリを各自用意してください。（ただし，無音も可。）

なお，作品用衣装がある場合は，着用して演技してください。また，ＣＤについては，パソコンを除く一般の音楽再生機器（ＣＤプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ，持参してください。（ＣＤが再生できない場合は，無音での実技となります。）

（ウ）体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

④ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　書道専攻

【Ⅰ】実技検査

以下の１．２．をすべて受験してください。

１．臨書課題
用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

２．創作課題
用紙は画仙紙全紙とします。
（自由に切って表現しても構いません。
ただし，全紙１／４より大きい作品にしてください。）

注（ア）筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。
用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。
（イ）罫線が印刷された下敷は使用できません。
（ウ）以下の条件をすべて満たす書籍に限り，字典の持ち込みを認めます。
①書籍販売されていること。
②古典作品を集字したもの。
③五書体全てを含んでいるもの。
④特定の人物の書を集字したものでないこと。（例　趙之謙字典，王鐸字典など）

【Ⅱ】小論文

書道及び書道教育に関する小論文を課します。

【Ⅲ】面　接（口頭試問を含む。）

５．小論文，実技検査，面接の評価の観点

課　程	プログラム・専攻		観　　　点　　　等
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ■　**面接は**，集団で行います。本プログラムへの志望動機等を短く述べてもらい，提示されたテーマについて討論してもらいます。この面接で，幼児教育者になろうとする意欲，大学での学修への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，思考力，判断力，表現力等を総合的に評価します。
	小学校教育専攻プログラム		◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲や主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度，表現力，コミュニケーション力等を評価します。
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	◆　**小論文は**，音楽教育に関わる内容を出題します。設問に所定の字数で論述解答してもらい，認識力，創造力，文章力等に重点をおいて評価します。 ◇　**実技検査は**，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。 **音楽実技検査票は**，音楽実技検査の準備等のために提出していただき，その記載内容が評価を左右することはありません。
		美術専攻	◇　**実技検査は**，平面における基礎的描写力や構成力等の基礎的資質について，総合的に評価します。 ■　**面接は**，個別で行います。美術に関する活動経験や体験，教育に対する意欲等を述べてもらい，本専攻で学ぶための適性を総合的に評価します。
		保健体育専攻	◆　**小論文は**，出題に対する自己の考えを表現するための基本的な文章構成の力量を問います。 ◇　**実技検査は**，特技種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（個人的技能や集団的技能を含む。）について実技検査します。 **競技歴調査書は**，高等学校での特技種目の競技成績を審査し，本専攻における修学への適性を判定します。 ■　**面接（口頭試問を含む。）は**，個別で行います。志望動機，過去の運動経験，特技種目の特性，保健体育に関する基礎的知識やスポーツ・学校教育に関する一般的事項，及び体育・スポーツ科学に対する将来への研究・学習意欲について試問し，本専攻に対する適性を総合的に評価します。
		書道専攻	◆　**小論文は**，書道・書道教育に対する基礎知識や基本姿勢を問うのが出題のねらいです。与えられた課題に対する理解力，思考力，表現力等を評価します。 ◇　**実技検査は**，まず，臨書課題において，高等学校芸術科書道の教科書に掲載されている種々の古名跡について，臨書表現の基礎的資質を評価します。また，創作課題においては，創作力の資質を評価します。 ■　**面接（口頭試問を含む。）は**，個別で行います。書道に関する基礎的知識，制作経験，学校教育に関する一般的事項及び志望理由等を試問し，本専攻で学ぶための適性や学習意欲などを総合的に評価します。

○調査書については，出願要件（学習成績の状況）の確認及び勉学意欲を十分備えているか等を判断するための資料にします。
○「高等学校」には，特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含みます。

6. 試験期日，時間割

令和５年１１月２５日（土）

課　程　・　プ　ロ　グ　ラ　ム　・　専　攻			9:00　9:30　10:00　10:30　11:00　11:30　12:00　12:30　13:00　13:30　14:00　14:30　15:00　15:30　16:00　16:30　17:00				
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		小論文 9:00～10:00	面接 11:00～			
初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム		小論文 9:00～10:00	面接 11:30～			
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	小論文 9:00～10:00				
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	美術専攻	実技検査 9:00～12:00	美術理論 13:00～14:00	面接 14:30～		
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	保健体育専攻	小論文 9:00～10:00	面接（口頭試問を含む。） 小論文終了後	実技検査 面接（口頭試問を含む。）終了後 （注4）		
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	書道専攻	小論文 9:00～10:00	実技検査 10:30～12:30	面接（口頭試問を含む。） 13:30～		

令和５年１１月２６日（日）

課　程　・　プ　ロ　グ　ラ　ム　・　専　攻			9:00　9:30　10:00　10:30　11:00　11:30　12:00　12:30　13:00　13:30　14:00　14:30　15:00　15:30　16:00　16:30　17:00	
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	音楽理論 9:00～10:00	実技検査 10:30～
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	保健体育専攻	実技検査 9:00～ （注4）	

（注）

1. 本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の1週間前までを目処にお知らせいたしますので，必ず確認してください。

2. 受験の際には，本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し，必ず持参してください。

3. 志願者数又は試験実施上の理由等により，時間割の変更あるいは試験開始時間前に集合させることもありますので留意してください。

その場合には，本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

4. 中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻の実技検査は，受験者が多数である場合，11月26日（日）にも実施することがあります。

その場合は，実施期日・時間等について，本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

5. 当該試験開始から20分経過後の遅刻者は，受験を認めません。

6. 本学の最寄りのJR教育大前駅には快速列車は停車しませんので，乗車の際には十分注意してください。

また，必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

７．試　験　場

福岡教育大学
※集合場所については本学ホームページにて試験の１週間前までを目処にお知らせします。

８．合格者発表

合格者発表は，次のとおり行います。

【日時・場所等】

日　　　　　　　時	ホームページ掲載
令和５年１２月６日（水）	**１０時００分**

※合格者の発表は,受験番号のみ掲載します。
※ホームページへの掲載は，本学が情報提供として行うものであり，合格者の発表は，必ず合格通知書で確認してください。
※ホームページ上での合格発表については，以下のページから確認いただけます。
【本学ホームページ：入試案内】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/

◎合格者には，合格者発表後に合格通知書及び入学手続関係書類を送付します。
不合格者には，特に通知しません。

【注　意】
電話等による合否の問い合わせには一切応じられません。

９．入学手続

合格者は,所定の期日までに，入学手続を完了してください。

※本手続は，郵送のみで受付をいたします。
来学による手続は受け付けておりませんのでご注意ください。

※本学の受験票は入学手続の際に必要となりますので，紛失しないように注意してください。

詳細については,「合格通知書」等を送付する際に通知します。

○手続期限
・令和５年１２月２１日(木)まで（必着）

Ⅲ　学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

１．出願要件等

（１）初等教育教員養成課程　人文・社会教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員は１校につき２名以内です。）

募 集 人 員	１０名
選 抜 方 法	大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文及び面接等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　１５００点，小論文　１００点，面接　１００点， 合計　１７００点
出願要件・ 推薦の条件等	**本学が指定した令和６年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者**（２６ページ【別表２】の「科目パターンⒶ」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・小学校教員となる強い意欲，熱意，適性，資質・能力等を持つ者 ・調査書の全体の学習成績の状況が３.５以上の者（３年間を通して全ての教科・科目の評定で３未満のものがないこと） ・高等学校在学中に，学校教育活動として，学校行事，生徒会活動（評価対象：役職ではなく，３年間を通した主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），部活動（評価対象：技能や大会等での成績ではなく，３年間を通した主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

（２）初等教育教員養成課程　理数教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員に制限はありません。）

募 集 人 員	１５名
選 抜 方 法	大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文及び面接等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　１５００点，小論文　１００点，面接　１００点， 合計　１７００点
出願要件・ 推薦の条件等	**本学が指定した令和６年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者**（２６ページ【別表２】の「科目パターンⒷ」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・小学校教員となる強い意欲，熱意，適性，資質・能力等を持つ者 ・調査書の全体の学習成績の状況が３.５以上の者 ・高等学校在学中に，学校教育活動として，学校行事，生徒会活動（評価対象：役職ではなく，３年間を通した主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），部活動（評価対象：技能や大会等での成績ではなく，３年間を通した主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

（3）初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員に制限はありません。）

募集人員	４３名（音楽系科目：１０名程度，美術系科目：１０名程度，体育系科目：１０名程度，家庭系科目：８名程度，技術ものづくり系科目：５名程度）
選抜方法	（音楽系科目） 大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接，実技検査及び音楽理論等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，小論文　１００点，面接　１００点， 実技検査　２５０点，音楽理論　５０点， 合計　　１４００点
	（美術系科目） 大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び実技検査等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，小論文　１００点，面接　１００点， 実技検査　３００点， 合計　　１４００点
	（体育系科目） 大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び実技検査等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，小論文　１００点，面接　１００点， 実技検査　３００点， 合計　　１４００点
	（家庭系科目） 大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び口頭試問等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，小論文　１００点，面接　１００点， 口頭試問　３００点， 合計　　１４００点
	（技術ものづくり系科目） 大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び口頭試問等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，小論文　１００点，面接　１００点， 口頭試問　３００点， 合計　　１４００点
出願要件・推薦の条件等	**本学が指定した令和６年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者**（２６ページ【別表２】の「科目パターンＡ又はＢ」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・小学校教員となる強い意欲，熱意，適性，資質・能力等を持つ者 ・調査書の全体の学習成績の状況が３.５以上の者 ・高等学校在学中に，学校教育活動として，学校行事，生徒会活動，部活動，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者 ・小学校における音楽科教育，美術科教育，体育科教育，家庭科教育，技術ものづくり教育の一つまたは複数に関心があり，小学校における授業や学校活動等を通した人間教育に強い関心を持つ者，または，教科の枠にとらわれない自由な発想ができる広い視野を持つ者

（４）中等教育教員養成課程　中等教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，志望する専攻の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員に制限はありません。）

家庭専攻	募集人員	３名
	選抜方法	大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，面接（口頭試問を含む。）　２００点， 合計　１１００点
	出願要件・推薦の条件等	**本学が指定した令和６年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者**（２６ページ【別表２】の「科目パターンＡ又はＢ」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・調査書の全体の学習成績の状況が３．７以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

（５）特別支援教育教員養成課程　特別支援教育初等教育プログラム

令和６年３月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項の規定等により，令和５年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。（各高等学校長が推薦できる人員に制限はありません。）

募集人員	５名
選抜方法	大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。 ・配点 大学入学共通テスト　９００点，面接（口頭試問を含む。）　４００点， 合計　１３００点
出願要件・推薦の条件等	**本学が指定した令和６年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者**（２６ページ【別表２】の「科目パターンＡ又はＢ」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・調査書の全体の学習成績の状況が４．０以上の者 ・特別な教育的ニーズのある児童の教育を担う教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

２．出 願 期 間

出願に必要な書類等の提出期限
令和５年１１月１日（水）から１１月８日（水）まで**（１７時必着）**
インターネット出願登録期間
令和５年１０月２５日（水）から１１月８日（水）まで**（１７時まで）**

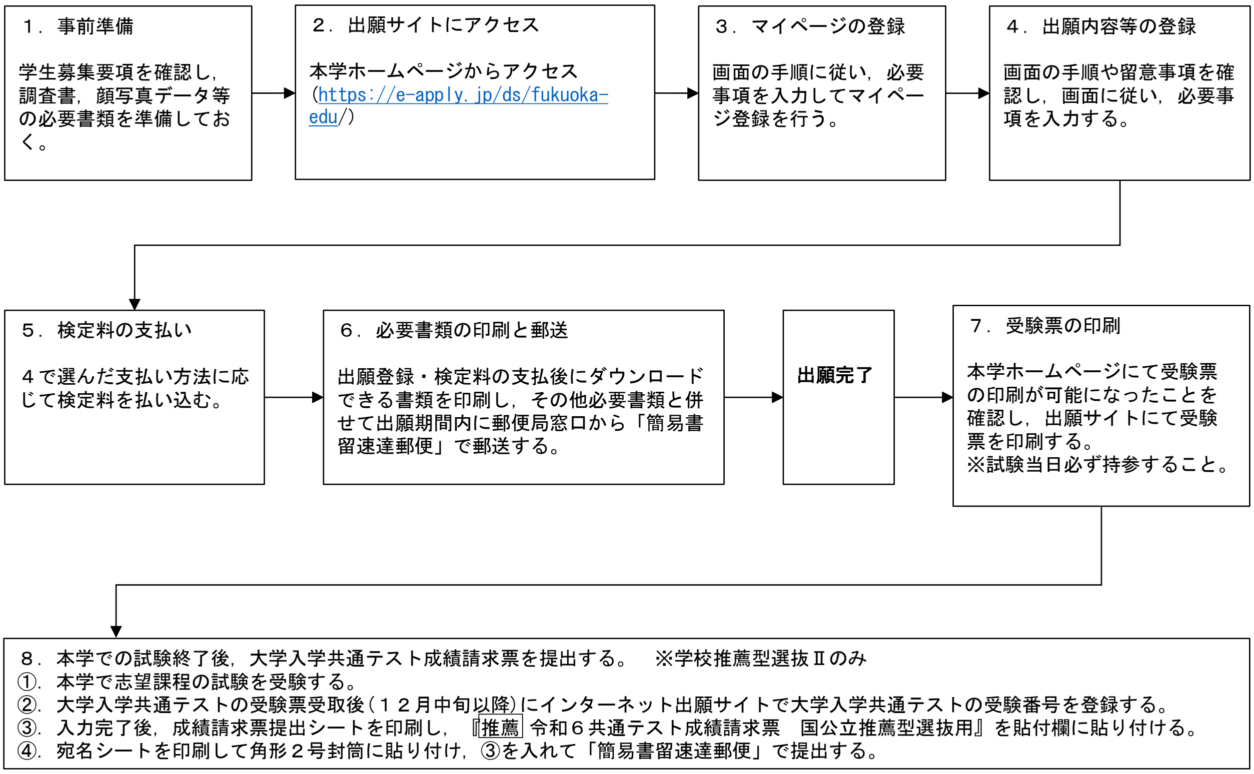
３．出 願 手 続

インターネットを利用した出願方法となります。なお，インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に，次の３点の手続を必ず完了する必要があります。

・インターネットを利用した出願登録
・検定料の支払い
・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合，受験できませんので十分ご注意ください。
なお，出願に必要な書類等は出願期間内に到着する必要があります。

出願の流れは以下のとおりです。



◎　検　定　料　　<u>１７，０００円</u>（別途，払込手数料が発生します。）

【注意】払い込まれた検定料は，次の場合を除き返還しません。
①出願書類を提出しなかった場合。
②出願書類が受理されなかった場合。
③誤って二重又は過剰に納付した場合。
　これらの場合は，納付した者の申し出により，検定料として払い込まれた額又は過剰に払い込まれた額のうち振込手数料等の実費を除く額を返還します。

（１）出願に必要な書類等

出願書類等は，次の表のとおりです。①についてはインターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/）からダウンロードしてください。③～⑥については本学所定の用紙を本学のホームページ（https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/recommendation.html）からダウンロードしてください。

なお，「⑦大学入学共通テスト成績請求票」については，大学入学共通テスト受験票の受取後（１２月中旬以降）に２０ページの図の８．の手順により，所定の宛名シートを貼付した封筒（角形２号封筒）にて，本学に提出してください。他の出願書類とは提出時期が異なるため注意してください。

【出願書類等の内容】

出願書類等の名称	提出者	摘　　要
① 志願票兼出願確認票	全　員	インターネット出願サイトを通しての出願登録・検定料の支払完了後にダウンロードし，印刷してください。
② 調査書	全　員	出身学校長が作成し,厳封したものを提出してください。
③ 推薦書	全　員	本学所定の用紙（※１）により出身学校長が作成し,厳封したものを提出してください。（※３） **※作成の際は３６ページ記載の「推薦書・志望理由書記入上の注意（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱとも共通）」をよく確認してください。**
④ 志望理由書	全　員	本学所定の用紙（※２）に志願者本人が記入し提出してください。（※３） **※作成の際は３６ページ記載の「推薦書・志望理由書記入上の注意（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱとも共通）」をよく確認してください。**
⑤ 音楽実技検査票 **（学校推薦型選抜Ⅱ用）**	該当者	初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（音楽系科目）を志望する者は，本学所定の用紙（※２）により提出してください。
⑥ 競技歴調査書	該当者	初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）を志望する者は，本学所定の用紙（※２）により提出してください。なお，競技歴を証明する資料を添付することもできます。（※３）
⑦ 大学入学共通テスト成績請求票	全　員	大学入試センター発行の「推薦令和６共通テスト成績請求票国公立推薦型選抜用」を「成績請求票提出シート」の所定の欄に貼付し，所定の宛名シートを用いた封筒で「速達簡易書留郵便」にて下記の提出期限までに提出してください。 **※提出期限：令和５年１２月２２日（金）まで**

※１　黒のボールペンを用いて楷書で記入，もしくはパソコン等で作成してください。
※２　黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。
※３　③，④，⑥は A4 サイズで両面印刷してください。

【提出方法】

インターネット出願サイトで出願書類提出用宛名シートをダウンロード・印刷し，市販の角形２号封筒に貼付し，出願書類等（①～⑥）を入れて，**郵便局の窓口で「簡易書留郵便」にて速達で郵送してください。（１１月８日（水）１７時必着）**

【出願書類等の提出宛先】

〒811－4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学入試課

（２）出願及び受験に際しての注意事項

（ア）　出願について

①　郵送期間等を十分考慮して，**出願期間内に届くよう送付してください。**
（出願期間後に到着した場合は，受理できません。）

②　**出願書類に不備がある場合には，受理できないことがあります。**郵送する前に必ず記入内容を点検し，提出すべき全ての書類が整っているか確認してください。

③　**志願票兼出願確認票受理後は，住所・連絡先以外の記載事項及び書類の変更を認めません。**

④　出願後に住所を変更した場合は，志願者であることが確認できるもの（氏名，志望課程・プログラム・専攻及びインターネット出願時の受付番号または受験番号など）を準備し，新しい住所を電話により入試課へ連絡してください。

（イ）　受験票について

①　**受験票は，本学ホームページにて試験の１週間までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので，出願サイトで各自印刷のうえ，試験当日持参してください。**

②　**試験当日に受験票を忘れて来た場合は**，試験当日に本学が設置する試験場第１事務室にて，試験の開始前までに**「仮受験票」の発行手続きをしてください。**

（ウ）所持品の取扱いについて

①　受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，次のとおりです。

・筆記用具（和歌・格言等が印刷されているものは不可） ・プラスチック製の消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。） ・時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。） ・眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これら以外の所持品を使用又は置いている場合には，解答を一時中断させて，試験終了まで預かることがあります。

②　試験時間中に，次のものを使用してはいけません。

・定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)，コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具 ・携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

なお，イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。(試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請（３３ページ）が必要です。)

（エ）不正行為について

試験中に不正行為等があった者に対しては，受験を停止し，かつ，すべての試験を無効とします。また，悪質な場合は，警察に被害届を提出する場合があります。詳細は試験の１週間前までを目処に本学ホームページに掲載する「受験上の注意事項」をよく確認してください。

（オ）　そ　の　他

①　**本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の１週間前までを目処にお知らせいたしますので，必ず確認してください。**

②　**当該試験開始時刻から２０分経過後の遅刻者は，受験することができません。**

③　交通事情等を考慮し，余裕をもって試験場に到着するようにしてください。福岡県外からの受験者は特に余裕を持って交通機関等の手配を行ってください。

④　本学の最寄りのＪＲ教育大前駅には快速列車は停車しません。十分注意し乗車してください。また，必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

（３）大学入学共通テスト受験番号の登録方法

大学入学共通テスト受験番号の登録方法は以下のとおりです。

①インターネット出願サイトにログインする。

URL：https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/

②マイページから「出願手続きを行う」をクリック

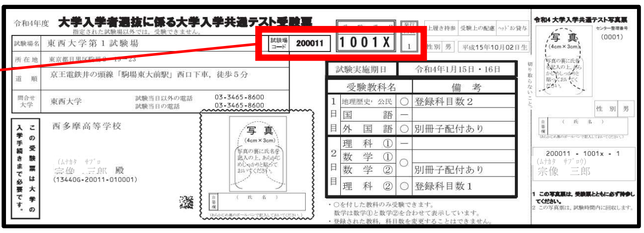
③教育学部・大学院・特別専攻科選択：「教育学部」を選択

④入試区分：「学校推薦型選抜Ⅱ　共通テスト受験番号入力」を選択

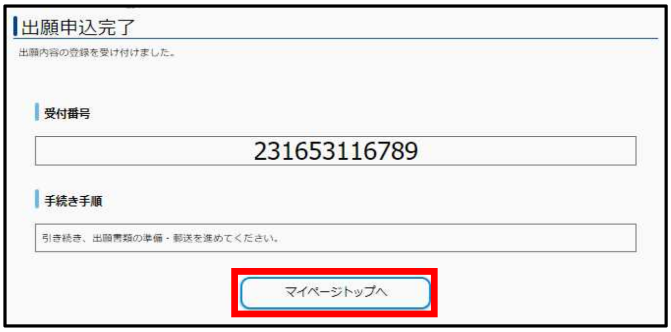
⑤「志望先等」をチェック

⑥共通テストの受験番号を入力

〔参考：大学入学共通テスト受験票（見本）〕



⑦入力内容を確認し，「この内容で登録する」をクリック

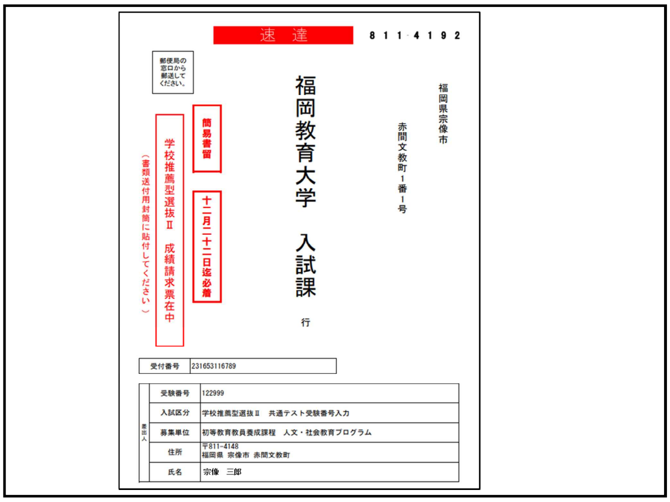


⑧出願申込完了の画面が出たら，「マイページトップ」へ移動

⑨「出願書類の表示」をクリック

⑩「成績請求票提出シート」を印刷し，『推薦 共通テスト成績請求票　国公立推薦型選抜用』を所定の貼付欄に貼り付ける

〔参考：共通テスト成績請求票（見本）〕



⑪「宛名シート」を印刷して角形２号封筒に貼り付け，⑩を入れて「簡易書留速達郵便」で提出する

４．入学者選抜方法等

提出された推薦書，調査書，志望理由書，大学入学共通テスト及び【別表１】に定める選抜方法等により選抜します。なお，合格者の選考は，次のとおり行います。

（ア）　大学入学共通テスト，小論文，面接等の成績の合計得点順に合否を決定します。

（イ）　合格最低点での同点者は全員合格とします。

【別表１】

課程	プログラム・専攻		大学入学共通テスト科目パターン【別表２参照】	選抜方法等〔【別表３】の①～③も参照〕	配点合計
初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム		Ⓐ	大学入学共通テスト〔１５００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕	1700
	理数教育プログラム		Ⓑ	大学入学共通テスト〔１５００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕	1700
	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕 実技検査〔２５０点〕 音楽理論〔５０点〕	1400
		（美術系科目）	Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕 実技検査〔３００点〕	1400
		（体育系科目）	Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕 実技検査〔３００点〕	1400
		（家庭系科目）	Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕 口頭試問〔３００点〕	1400
		（技術ものづくり系科目）	Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 小論文〔１００点〕 面接〔１００点〕 口頭試問〔３００点〕	1400
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 面接（口頭試問を含む）〔２００点〕	1100
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		Ａ又はＢ	大学入学共通テスト〔９００点〕 面接（口頭試問を含む）〔４００点〕	1300

【別表２】大学入学共通テストの教科・科目名・配点等

	教　科	科 目 名 等	配点	配点合計
A **（文系型）**	国語	国語（必須）	200	900
	地歴 公民	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から２科目	200	
	数学	数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１科目 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１科目	200	
	理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目 または 物理，化学，生物，地学から１科目	100	
	外国語	英，独，仏，中，韓から１科目	200	
		〔５教科７科目若しくは８科目〕または〔６教科７科目若しくは８科目〕		
Ⓐ **（文系型）** **傾斜配点有**	国語	国語（必須）	400	1500
	地理 公民	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から２科目	400	
	数学	数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１科目 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１科目	200	
	理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目 または 物理，化学，生物，地学から１科目	100	
	外国語	英，独，仏，中，韓から１科目	400	
		〔５教科７科目若しくは８科目〕または〔６教科７科目若しくは８科目〕		
B **（理系型）**	国語	国語（必須）	200	900
	地歴 公民	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から１科目	100	
	数学	数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１科目 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１科目	200	
	理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目 及び物理，化学，生物，地学から１科目 または物理，化学，生物，地学から２科目	200	
	外国語	英，独，仏，中，韓から１科目	200	
		〔５教科７科目または８科目〕		
Ⓑ **（理系型）** **傾斜配点有**	国語	国語（必須）	200	1500
	地歴 公民	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から１科目	100	
	数学	数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１科目 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１科目	400	
	理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目 及び物理，化学，生物，地学から１科目 または物理，化学，生物，地学から２科目	400	
	外国語	英，独，仏，中，韓から１科目	400	
		〔５教科７科目または８科目〕		

【注意事項】

① 各教科の科目名は次のように略記しています。
　地理歴史･･･「世界史Ａ」→世A，「世界史Ｂ」→世B，「日本史Ａ」→日A，「日本史Ｂ」→日Ｂ
　公民･･･「現代社会」→現社，「倫理」→倫，「政治・経済」→政経，「倫理，政治・経済」→倫・政経
　数学･･･「数学Ⅰ」→数Ⅰ，「数学Ⅰ・数学A」→数Ⅰ・数A，「数学Ⅱ」→数Ⅱ，「数学Ⅱ・数学B」→数Ⅱ・数B，「簿記・会計」→簿・会，「情報関係基礎」→情報
　外国語･･･「英語」→英，「ドイツ語」→独，「フランス語」→仏，「中国語」→中，「韓国語」→韓

②「地理歴史」及び「公民」については，同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「世界史Ａ」と「世界史Ｂ」，「日本史Ａ」と「日本史Ｂ」，「地理Ａ」と「地理Ｂ」，「倫理」と「倫理，政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理，政治・経済」の組合せをいいます。

③「理科」については，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の４科目から２科目並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の４科目から１科目を選択する場合において，同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」及び「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

④「数学」において，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者または専修学校の高等課程を修了した（見込みを含む。）者に限ります。

⑤「外国語」の「英語」は，「リーディング」及び「リスニング」とします。
　※「英語」の配点内訳は，リーディング１００点，リスニング１００点とします。なお，リスニングを免除された者については，リーディング１００点満点を２倍にした成績を採用します。

⑥指定した教科・科目数を超えて受験した場合は，原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を採用します。
　ただし，「地理歴史」及び「公民」から２科目を受験したうち１科目のみを用いる場合（Ｂパターン及びⒷパターン選択時），又は，「理科」（「物理」，「化学」，「生物」，「地学」）から２科目を受験したうち１科目のみを用いる場合（Ａパターン及びⒶパターン選択時）は，解答順に，前半６０分で受験した科目を第１解答科目，後半６０分で受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の成績を採用します。

【別表３】実技検査を課す課程及びプログラム・専攻等の内容について

課程及びプログラム・専攻等		該当ページ
初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム	①（音楽系科目） ②（美術系科目） ③（体育系科目）	２７ページ ２８ページ ２８ページ

① 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（音楽系科目）

【Ⅰ】実技検査

※受験者は，２部門（①歌唱，②ピアノ）を必ず演奏してください。

①歌唱

A 小学校歌唱共通教材

以下の４曲より任意の１曲を選び，暗譜で演奏してください。

・茶つみ	文部省唱歌	（ト長調）	２番まで
・まきばの朝	文部省唱歌	（ハ長調）	１番のみ
・こいのぼり	文部省唱歌	（ヘ長調）	２番まで
・ふるさと	文部省唱歌	（ヘ長調）	１番のみ

注（ア）A小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。
（イ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

B 歌曲

以下の歌曲より任意の１曲を選び，暗譜で演奏してください。

・はる	團　伊玖磨作曲	（変ト長調）
・むこうむこう	中田　喜直作曲	（ヘ長調）
・Lasciar d'amarti	ガスパリーニ作曲	（ヘ短調）
・Vaga luna	ベッリーニ作曲	（変イ長調）

注（ア）B歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
（イ）演奏は原語とします。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

②ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の１曲を選び，その第１楽章を演奏してください。

KV280，KV283，KV309，KV330，KV332，KV457，KV545

注（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】音楽理論

楽典の筆記試験を課します。

【Ⅲ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

【Ⅳ】小論文

② 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（美術系科目）

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。（自画像）

注・鉛筆，消し具等鉛筆画に必要な用具を持参してください。
・鏡，画架，画板，画紙，画鋲は大学側で準備します。
・はかり棒のみ使用を認めます。

【Ⅱ】小論文

【Ⅲ】面　接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

③ 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（体育系科目）

【Ⅰ】実技検査

【特技種目】

陸上競技，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の種目の中から１種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。

★「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料（例として，新聞・雑誌記事に本人の氏名や写真のあるもの，大会・試合・競技会記録に本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの，あるいは当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書）を添付することもできます。

新聞記事，写真等の添付資料（※）は，Ａ４版の大きさ（競技歴調査書と同じ大きさ）の用紙に切り貼り，コピー等により作成し提出してください。なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

※新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

注下記の「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

【Ⅲ】面　接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

◎実技検査受験上の注意

（ア）試技する際に着用するすべてのウエアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ，約1.5cm幅の黒字で受験番号の下３桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△○には受験番号下３ケタを書いてください。
初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」
中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・・・「中体○○○」

ただし，次の場合は注意してください。
・柔道の場合は，背部のみに縫いつけてください。
・剣道の場合は，袋状のゼッケンを作成し，タレの前面にかぶせるようにしてください。
・ダンスの場合は，何も縫いつけなくて構いません。

（イ）特技種目で使用するウエア，シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む），剣道具，竹刀，槍，バット（金属可），グローブ等の個人用具は，すべて各自持参してください。

ダンスで特技種目を受験する者は，自由なテーマに基づく創作作品（２分以上２分３０秒以内）を用意し，音楽については，ＣＤ又はＵＳＢメモリを各自用意してください。（ただし，無音も可。）

なお，作品用衣装がある場合は，着用して演技してください。また，ＣＤについては，パソコンを除く一般の音楽再生機器（ＣＤプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ，持参してください。
（ＣＤが再生できない場合は，無音での実技となります。）

（ウ）体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

5．小論文，実技検査，面接，口頭試問等の評価の観点

課　程	プログラム・専攻		観　　点　　等
初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム		◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ■　**面接は**，集団で行います（討論を含みます）。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度やコミュニケーション力等を評価します。
	理数教育プログラム		◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度やコミュニケーション力，理数教育プログラムで学びに向かう姿勢を評価します。
	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ◇　**実技検査は**，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。 　**音楽実技検査票は**，音楽実技検査の準備等のために提出していただき，その記載内容が評価を左右することはありません。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		（美術系科目）	◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ◇　**実技検査は**，平面における基礎描写力や用具の使い方等の基本的な造形力について総合的に評価します。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		（体育系科目）	◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ◇　**実技検査は**，特技種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（個人的技能や集団的技能を含む。）について実技検査します。 　**競技歴調査書は**，体育実技検査の準備等のために提出していただき，その記載内容が評価を左右することはありません。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		（家庭系科目）	◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ◇　**口頭試問は**，個別で行います。家庭（家庭基礎，家庭総合）に関する事項について試問し，芸術・実技プログラムに対する適正を評価します。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		（技術ものづくり系科目）	◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ◇　**口頭試問は**，個別で行います。技術ものづくり（設計・製作，プログラミング，エネルギーの利用，動植物の育成）の内容から試問し，芸術・実技教育プログラムに対する適性，資質，能力等を総合的に評価します。 ■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。

課　程	プログラム・専攻		観　　点　　等
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	■　**面接（口頭試問を含む。）は，**個別で行います。家庭（家庭基礎，家庭総合）に関する事項，志望動機及び修学意欲について試問し，本専攻に対する適性を評価します。
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育 初等教育プログラム		■　**面接（口頭試問を含む。）は，**個別に実施します。本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価します。

○調査書については，出願要件（学習成績の状況）の確認及び勉学意欲を十分備えているか等を判断するための資料にします。

6. 試験期日，時間割

令和5年11月25日（土）

課程・プログラム・専攻			9:00～10:00	10:30～	
初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム		小論文 9:00～10:00	面接 10:30～	
	理数教育プログラム		小論文 9:00～10:00	面接 10:30～	
	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	小論文 9:00～10:00	面接（プログラム共通） 10:30～	実技検査 面接終了後
		（美術系科目）	小論文 9:00～10:00	面接（プログラム共通） 10:30～	実技検査 面接終了後（180分）
		（体育系科目）	小論文 9:00～10:00	面接（プログラム共通） 10:30～	実技検査 面接終了後 （注4）
		（家庭系科目）	小論文 9:00～10:00	面接（プログラム共通） 10:30～	口頭試問（家庭） 13:00～ （注4）
		（技術ものづくり系科目）	小論文 9:00～10:00	面接（プログラム共通） 10:30～	口頭試問（技術ものづくり） 13:00～
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	面接（口頭試問を含む。） 9:00～		
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		面接（口頭試問を含む。） 9:00～ （注5）		

令和5年11月26日（日）

課程・プログラム・専攻			9:00～17:00
初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	音楽理論 9:00～9:40
		（体育系科目）	実技検査 9:00～ （注4）
		（家庭系科目）	口頭試問（家庭） 9:00～ （注4）
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		面接（口頭試問を含む。） 9:00～ （注5）

（注）

1. 本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の1週間前を目処にお知らせしますので，必ず確認してください。

2. 受験の際には，本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し，必ず持参してください。

3. 志願者数又は試験実施上の理由等により，時間割の変更あるいは試験開始時間前に集合させることもありますので留意してください。

その場合には，本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

4. 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）の実技検査及び初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（家庭系科目）の口頭試問は，

受験者が多数である場合，2日にわけて実施することがあります。なお，実施期日・時間等については，本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

5. 特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラムの面接は，受験者が多数である場合，2日間にわけて実施することがあります。

その場合は，実施期日・時間等について，本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

6. 当該試験開始から20分経過後の遅刻者は，受験を認めません。

7. 本学の最寄りのJR教育大前駅には快速列車は停車しませんので，乗車の際には十分注意してください。

また，必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

７．試　験　場

福岡教育大学
※集合場所については本学ホームページにて試験の１週間前までを目処にお知らせします。

８．合格者発表

合格者発表は，次のとおり行います。

【日時・場所等】

日　　　　　　　　時	ホームページ掲載
令和６年２月８日（木）	**１０時００分**

※　合格者の発表は,受験番号のみ掲載します。
※　ホームページへの掲載は，本学が情報提供として行うものであり，合格者の発表は，必ず合格通知書で確認してください。
※　ホームページ上の合格者発表については，以下のページから確認いただけます。
【本学ホームページ：入試案内】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/

◎合格者には，合格者発表後に合格通知書及び入学手続関係書類を送付します。
不合格者には，特に通知しません。

【注　意】
電話等による合否の問い合わせには一切応じられません。

９．入学手続

合格者は,所定の期日までに，入学手続を完了してください。

※本手続は，郵送のみで受付をいたします。
来学による手続は受け付けておりませんのでご注意ください。

※本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票は，入学手続の際に必要となりますので，紛失しないように注意してください。

詳細については，「合格通知書」等を送付する際に通知します。

○手続期限
・令和６年２月１６日(金)まで（必着）

Ⅳ　共通事項

１．障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する障害のある者等（下記参照）で，受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は，出願の前に，あらかじめ本学へ相談してください。

必要な場合は，本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

区　分	受験上及び修学上の配慮の対象となる者
視覚障害	1　点字による教育を受けている者 2　両眼の矯正視力がおおむね０．３未満の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 3　視力以外の視機能障害が高度の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 4　上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴覚障害	1　両耳の平均聴力レベルが６０デシベル以上の者 2　上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢体不自由	1　体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 2　両上肢の機能障害が著しい者 3　上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病　弱	慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発達障害	学習障害，注意欠陥多動性障害，自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
そ の 他	上記の区分（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・発達障害）以外の者で配慮を必要とする者

※　日常生活において，ごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を持参して受験する場合も，試験場設定や他の配慮との関係から受験上及び修学上の配慮として申請することが必要となりますので注意してください。

（１）相談の期間

令和５年９月１５日（金）まで

注１）期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合は，できるだけ早く下記（3）の連絡先に問い合わせてください。

注２）申請が試験直前であったり，申請内容への対応が直ちにできないような場合には，希望する配慮を受けられないことがあります。

（２）相談の方法及び必要書類

下記事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書及び身体障害者手帳を有する者は，その写しを添えて申請（郵送可）してください。

ア．試験日程（学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱの別），志望課程及びプログラム・専攻等
イ．氏名，年齢，住所，電話番号
ウ．障害の種類・程度
エ．受験上及び修学上の配慮を希望する事項
オ．在籍（出身）学校の名称，及びその学校でとられていた具体的な修学上の配慮事項
カ．日常生活の状況

【本学ホームページ：障害等のある入学志願者の事前相談】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/previous.html

（３）連絡先

〒811-4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学　入試課
TEL　0940-35-1235

２．一般選抜への出願について

学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて，本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜（前期日程及び後期日程）に出願（出願期間は，令和６年１月２２日(月)から２月２日(金)まで）することができます。

なお，各大学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験する必要があります。〔本学へ出願する場合には，１２月上旬に公表予定の一般選抜にかかる「令和６年度学生募集要項」に基づいて手続をしてください。〕

３．入学料・授業料

（１）入学料・授業料

入学料		282,000円	
授業料	前期分	267,900円	
授業料	後期分	267,900円	(年額　535,800円)

① **上記の金額は，変更される場合があります。**
なお，在学中に授業料が改定された場合には，改定後の授業料となります。

② 特別の事情(学資負担者の死亡，風水害等による被災)又は経済的理由により，納入が著しく困難であると認められるときは，願い出により，入学料・授業料の免除及び徴収猶予を認めることがあります。

【注意】「入学料の免除及び徴収猶予」の願い出は，必ず以下の入学手続期限までに他の手続書類とあわせて提出する必要があります。

・学校推薦型選抜Ⅰ　令和５年１２月２１日（木）
・学校推薦型選抜Ⅱ　令和６年　２月１６日（金）

※ 入学料・授業料の納入方法及び入学料・授業料免除等の詳細については，「合格通知書」等を送付する際にお知らせします。

（２）その他の経費（納入金）

・学生教育研究災害傷害保険料　・学研災付帯賠償責任保険料　・自治会費
・アルバム費　・後援会費　・同窓会費

※ 納入方法及び金額等の詳細については，「合格通知書」等を送付する際にお知らせします。

４．入学の辞退

合格者で，特別の事情により入学を辞退する者は，出身学校長を経由して「入学辞退願（様式任意）」を本学学長あて（入試課気付）に令和６年２月１６日（金）までに提出してください。

辞退は，許可された場合に限り認められます。

５．注 意 事 項

（１）**国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することができるのは，１つの大学・学部のみです。**

（２）入学手続完了者で，令和６年３月までに高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業できない者は，入学を許可しません。

（３）合格者が所定の期日までに入学手続を完了しないときは，学校推薦型選抜合格者としての権利は消失します。

（４）合格者は，「**４．入学の辞退**」で定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き，他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

（５）国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って，学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

６．ノートパソコンの必携（BYOD)について

福岡教育大学では，「情報機器の操作」（必修授業科目）をはじめとした様々な授業や，レポートの作成，教育実習，学校教育課題研究（卒業研究）など，数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。そのため，令和４年度の教育学部新入生より，個人用ノートパソコンを必携（BYOD）としています。本学が推奨するノートパソコンの仕様については，本学ホームページに掲載しています。その他，ノートパソコンの必携に関する詳細については，合格者発表後にお知らせします。

【本学ホームページ：入学準備情報（BYOD)】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/byod.html

７．入学者選抜試験個人成績の開示について

令和６年度学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱに係る受験者の個人成績は，本人の申請に基づき次のとおり開示します。

１．開示内容

○試験成績等

次の（ａ）（ｂ）とします。

（ａ）受験者の得点について

【学校推薦型選抜Ⅰ】

（１）実技検査等の合計得点を開示します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

（１）大学入学共通テストの合計得点を開示します。

（２）実技検査等の合計得点を開示します。

（ｂ）不合格者のランクについて

（１）不合格者の得点をＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階に区分し，合格最低点からの不足分が２０点未満の場合をＡ，２０点以上４０点未満の場合をＢ，４０点以上６０点未満の場合をＣ，６０点以上の場合をＤとします。

（２）合格最低点は合格者の最低点とします。

２．開示期間

令和６年５月１日（水）から令和６年６月３０日（日）の間に簡易書留郵便で送付します。

※入試個人情報通知書は,出願時に入試個人情報通知書送付先の欄に入力された住所に郵送します。このため，出願時から開示期間終了までの間に転居等が予想される場合は，帰省先等，確実に通知書が受領できる住所を入力してください。(**<u>高校・予備校の寮等の住所は記載しないでください。</u>**)

注１）**<u>令和６年６月頃</u>発送の予定**です。６月中に届かない場合は入試課へご連絡ください。

注２）「宛先不明」等で返送された場合，本学で保管するのは令和７年３月末日までとします。

３．申込方法

・成績開示を希望する志願者は，インターネット出願登録の際，入試成績の開示請求の項目において「希望する」を必ず選択してください。

・**<u>出願時に成績開示を希望しなかった場合は，出願後に成績開示を希望することはできません。</u>**

・成績開示を希望する場合，開示請求手数料300円及び通知に係る郵送料404円を入学検定料と併せて支払う必要があります。

なお，入学検定料免除者の場合は，開示請求手数料も免除となりますが，通知に係る郵送料が必要となりますので，404円分の切手を出願必要書類と一緒に郵送してください。

【本学ホームページ：入学者選抜試験個人成績の開示について】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/release.html

４．その他

令和５年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

８．試験に関する問い合わせ先

学校推薦型選抜に関する照会については，下記に問い合わせてください。

〒811-4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学入試課
TEL 0940-35-1235　FAX 0940-34-1313

９．推薦書・志望理由書記入上の注意（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱとも共通）

書類の記入にあたっては本学ホームページに掲載の様式をダウンロードし，A4サイズで両面印刷してください。

Ⅰ．推薦書

推薦理由，学業，人物，課外活動及び生活状況等についての記入は，概評ではなく具体的事実をあげて記入してください。なお，推薦書の記入にあたっては，黒のボールペンを用いて楷書で記入，もしくはパソコン等で作成してください。

１．推薦理由

アドミッション・ポリシーからみた，志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識･技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を含めて推薦する理由を，具体的に記入してください。

２．学　業

１）各学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。
　ただし，学年での順位を出していない場合は，学科等別の順位を記入し，括弧内に学科等母集団の名称を記入してください。
　なお，各高等学校等の事情により成績順位を記載することが困難な場合には，福岡教育大学入試課までお問い合わせください。　【例】　〇位／△△人中(特別進学コース　)

２）授業中及び特別活動への取組み姿勢，勉学の自発性，独創性，計画性，持続性等について具体的に記入してください。

３）その他，推薦する根拠となった学業上の特別な理由があれば記入してください。

３．人　物

人物，性格について本人の特徴をよく表現するような事実を，より一層具体的に記入してください。

４．課外活動及び生活状況・その他

１）本人の課外活動，社会参加について特記すべきことがあれば，具体的に記入してください。

２）本人の趣味，特技，生活態度などについて，具体的に記入してください。

３）中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻については，高等学校３か年間でのコンテスト等の入賞歴を具体的に記入してください。

Ⅱ．志望理由書

１．志願者本人が記入してください。

２．中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻，中等教育教員養成課程中等教育プログラム書道専攻，特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラムを志望する者は，各行の目盛りを目安に1,200字以内に収まるように記入してください。その他の課程及びプログラム・専攻等を志望する者は，目盛りにとらわれずに，自由に記入して構いません。

３．黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

４.作成において，ChatGPT等の生成AIを利用することは認めません。

10. 競技歴調査書の「特技種目の競技歴」記入上の注意等について

【特技種目の競技歴記入上の注意】

以下は中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻を志望する者が「２．特技種目の競技歴」を記入する際の注意点です。初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）を志望する者は，「２．特技種目の競技歴」の記入は任意ですので，記入する場合は，以下を参考に自由に記入してください。また，学校長又は協会・団体責任者の証明も不要です。

１．出場大会名：　特技種目の競技歴は，高等学校３か年間におけるものの中で，本人が出場し，競技（プレー）した大会の中で，大会レベルの高いものから，順に２つ以内を選び，その正式大会名を記入してください。**本人が大会にはエントリーされていても，実際にプレーしなかった大会は除きます。**

なお，記入欄は，「①高体連主催の大会用」と「②その他の団体・協会等主催の大会用」に分かれていますが，「②その他の団体・協会等主催の大会用」に該当しないものは記載の必要がありません。これに該当するのは，ユースの全国大会やクラブの選手権大会等ですが，両方にまたがっている者は，両方の大会のそれぞれ高いレベルのものを記載してください。

２．出場した時の学年：　１．で記入した大会に出場した時の学年について記入してください。

３．大会規模：　１．で記入した大会の参加チーム数あるいは当該種目の出場選手数を記入してください。

４．大会出場方法：　１．で記入した大会への出場は，ブロック大会・県大会・地区大会などの予選を経ての出場であるかどうかについて記入してください。予選大会を経ての出場であれば，その大会レベルを記入するとともに，その予選大会での成績も記入してください。（例えば，県大会で１位となり，全国大会出場等）

５．ポジション：　ポジションとは団体種目における本人の役割であり，１．で記入した大会におけるポジションとレギュラーであったかどうかを記入してください。陸上競技で受験する者は種目を記入してください。

６．大会の成績：　１．で記入した大会における成績について記入してください。（例えば，全国大会決勝トーナメント３回戦敗退ベスト８，あるいは予選リーグ敗退等）

７．大会における試合記録：　１．で記入した大会における試合記録について，対戦相手及びその結果を記入できる範囲で詳しく記入してください。

８．添付資料番号：　添付資料を切り貼りした用紙は，一枚ずつ右上の端に通し番号をつけ，「競技歴調査書」の表面を表紙にして，左上の端を一括して，ホチキスでとじて提出してください。そして，この欄には必ず右上端に記入した通し番号を以下の記入例のように，記入してください。

９．新型コロナウイルス感染症：　全国大会若しくはブロック大会（九州，中国，四国，関西等の都道府県大会よりも上位に位置づく大会を指す）への出場実績については，新型コロナウイルス感染症による大会中止等の影響を鑑み，出願者がこれらの大会への出場と同等の成績を修める競技力を有していると学校長が判断する場合は，出願を認めます。その場合は，大会で実際にプレーしたことを証明する資料の代わりに，学校長の推薦文を提出してください。推薦文の書式は問いません。

◎ 記入例

① 高体連主催の大会用

１． 出場大会名 （大会開催年月日）	２． 出場した時の学年	３． 大会規模	４． 大会出場方法	５． ポジション （種目）	６． 大会の成績	７． 大会における試合記録 （対戦相手とその結果等）	８． 添付資料番号
第●回全国高等学校総合体育大会 ●●の部 （●年6月5日 ～6月6日）	２学年	２５チーム	県大会で１位となり，全国大会出場	100kg 超級	個人戦 ３位	準決勝敗退	１～３

② その他の団体・協会等主催の大会用

１． 出場大会名 （主催者名及び大会開催年月日）	２． 出場した時の学年	３． 大会規模	４． 大会出場方法	５． ポジション （種目）	６． 大会の成績	７． 大会における試合記録 （対戦相手とその結果等）	８． 添付資料番号
第●回国民体育大会 （主催者名： ：日本体育協会） （●年10月26日 ～10月31日）	３学年	２４チーム	九州ミニ国体で１位となり，全国大会出場	大将	トーナメント決勝進出準優勝	決勝 対〇〇県 ０－５	４～９

【競技歴調査書の添付資料に関する注意】

○プレー実績について証明できる者

実際にプレーしたことを証明する資料とは，新聞・雑誌記事に本人の氏名や写真のあるもの，大会・競技会記録に本人の競技成績や出場した記録の記載されているもの（賞状のコピー等でもよい），あるいは，当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書（任意の様式）等をいいます。競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，競技会に出場し実際にプレーしたことを証明する資料にはなりません。新聞・雑誌記事，写真等（コピーでも可）はA4版（「競技歴調査書」と同じ大きさ）の用紙に切り貼りするなどして作成してください。新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

添付資料は一枚ずつ右上の端に通し番号（1，2，3．．．）をつけ，「競技歴調査書」と一緒に左上の端をホチキスでとじて提出してください。さらに，本人及びチームのことが記載されている箇所に赤色のアンダーライン又は，ピンク若しくは黄色の蛍光ペンで目印をつけてください。**添付資料のない場合は，「競技歴調査書」として認められず，出願できません。（中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻のみ）。ただし，令和6年度入試では新型コロナウイルス感染症に関する特例措置を設けています。大会の中止等により，プレー実績を証明する資料の提出が出来ない場合は37ページの9.を参照してください。**

○プレー実績について学校長の推薦文で代わりとする者

37ページの9.のとおり学校長の推薦文を添付して提出してください。

11. 個人情報の利用について

個人情報の保護に関する法律に基づき，本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報につきましては，次の(1)の入学者選抜に係わる業務のほか，(2)から(9)のとおり利用しますので，予めご了承ください。

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達します。
(2) 合格者並びに追加合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
(3) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
(4) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納入金管理に係わる業務で利用します。
(5) 入学者選抜で取得した成績（「調査書」に記載されている成績を含む。）を，入学年度における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
(6) 入学者選抜を通じて取得した個人情報の一部又は全部を，個人が特定できない形で，統計処理等の付随する業務及び本学における教育改善のための調査研究で利用します。
(7) (6)で得た統計処理等の結果や調査研究結果の一部又は全部を本学の教育研究活動，広報活動等の業務に利用する場合があります。
(8) (6)及び(7)につきましては，データの電子化，印刷，製本等の業務を業者に委託する場合があります。
(9) 本学の関連団体である同窓会，学生自治会・後援会及び福岡教育大学生活協同組合から，入会者確認等の業務を円滑に行うことを目的とした資料提供を求める申し出があった場合，入学手続者の氏名等，利用目的に限定した範囲での資料を提供する場合があります。

※　本学が取得した個人情報は，個人情報の保護に関する法律第２７条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

《参　考》

過去３年間の学校推薦型選抜状況

年度	区分	課程	選修・専攻・部等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
令和3年度	推薦Ⅰ	初等教育教員養成課程		福岡県	26	46	46	27	27	1.8
				佐賀県	17（各県から2～3名）	9	9	3	3	―
				長崎県		10	10	2	2	―
				熊本県		12	12	3	3	―
				大分県		7	7	2	2	―
				宮崎県		9	9	2	2	―
				鹿児島県		10	10	2	2	―
				沖縄県		4	4	2	2	―
			幼児教育選修		6	44	44	8	8	7.3
		中等教育教員養成課程	音楽専攻		5	20	20	5	5	4.0
			美術専攻		4	16	16	5	5	4.0
			保健体育専攻		6	14	14	6	6	2.3
			家庭専攻		2	6	6	2	2	3.0
			書道専攻		3	10	10	4	4	3.3
		特別支援教育教員養成課程	初等教育部		5	17	17	5	5	3.4
	推薦Ⅱ	初等教育教員養成課程			77	120	120	77	77	1.6
	計				151	354	354	155	155	―
令和4年度	推薦Ⅰ	初等教育教員養成課程		福岡県	26	48	48	26	26	1.8
				佐賀県	17（各県から2～3名）	7	7	2	2	―
				長崎県		9	9	3	3	―
				熊本県		11	11	2	2	―
				大分県		5	5	3	3	―
				宮崎県		5	5	2	2	―
				鹿児島県		13	13	3	3	―
				沖縄県		5	5	2	2	―
			幼児教育選修		6	36	36	9	9	6.0
		中等教育教員養成課程	音楽専攻		5	20	20	5	5	4.0
			美術専攻		5	6	6	5	5	1.2
			保健体育専攻		6	14	14	6	6	2.3
			家庭専攻		2	8	8	2	2	4.0
			書道専攻		3	13	13	4	4	4.3
		特別支援教育教員養成課程	初等教育部		77	108	108	78	78	1.4
	推薦Ⅱ	初等教育教員養成課程			5	12	12	5	5	2.4
	計				152	320	320	157	157	―
令和5年度	推薦Ⅰ	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		8	38	38	10	10	4.8
			小学校教育専攻プログラム		24	107 (1)	107 (1)	26 (1)	26 (1)	4.5
		中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	5	21	21	5	5	4.2
				美術専攻	5	14	14	6	6	2.8
				保健体育専攻	6	14	14	7	7	2.3
				書道専攻	3	9	9	5	5	3.0
	推薦Ⅱ	初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム		10	51	51	10	10	5.1
			理数教育プログラム		15	25	25	15	15	1.7
			芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	43　10名程度	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	0.4
				（美術系科目）	10名程度	1	1	1	1	
				（体育系科目）	10名程度	12	12	12	12	
				（家庭系科目）	8名程度	2	2	2	2	
				（技術ものづくり系科目）	5名程度	1	1	1	1	
		中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	3	3	3	3	3	1.0
		特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		5	22	22	5	5	4.4
	計				127	322 (2)	322 (2)	110 (2)	110 (2)	–

※（　）は追試験対象者で内数

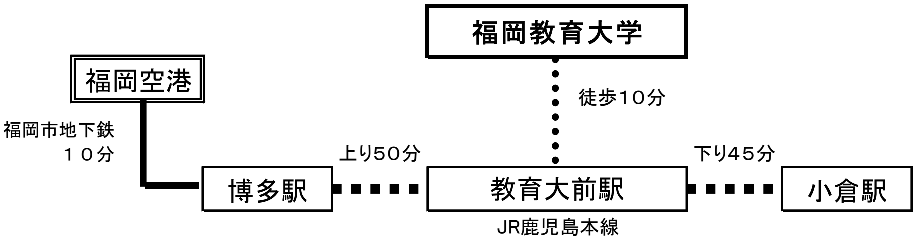
大学所在地

〒８１１－４１９２
福岡県宗像市赤間文教町１番１号

【交通機関】

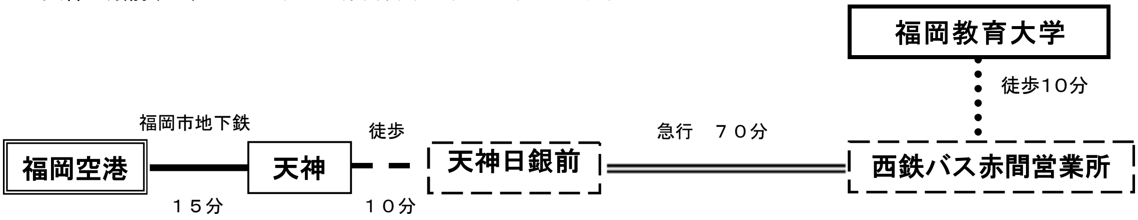
○ＪＲ利用の場合

・ JR鹿児島本線上り博多駅から普通電車に乗車（約５０分）
・ JR鹿児島本線下り小倉駅から普通電車に乗車（約４５分）

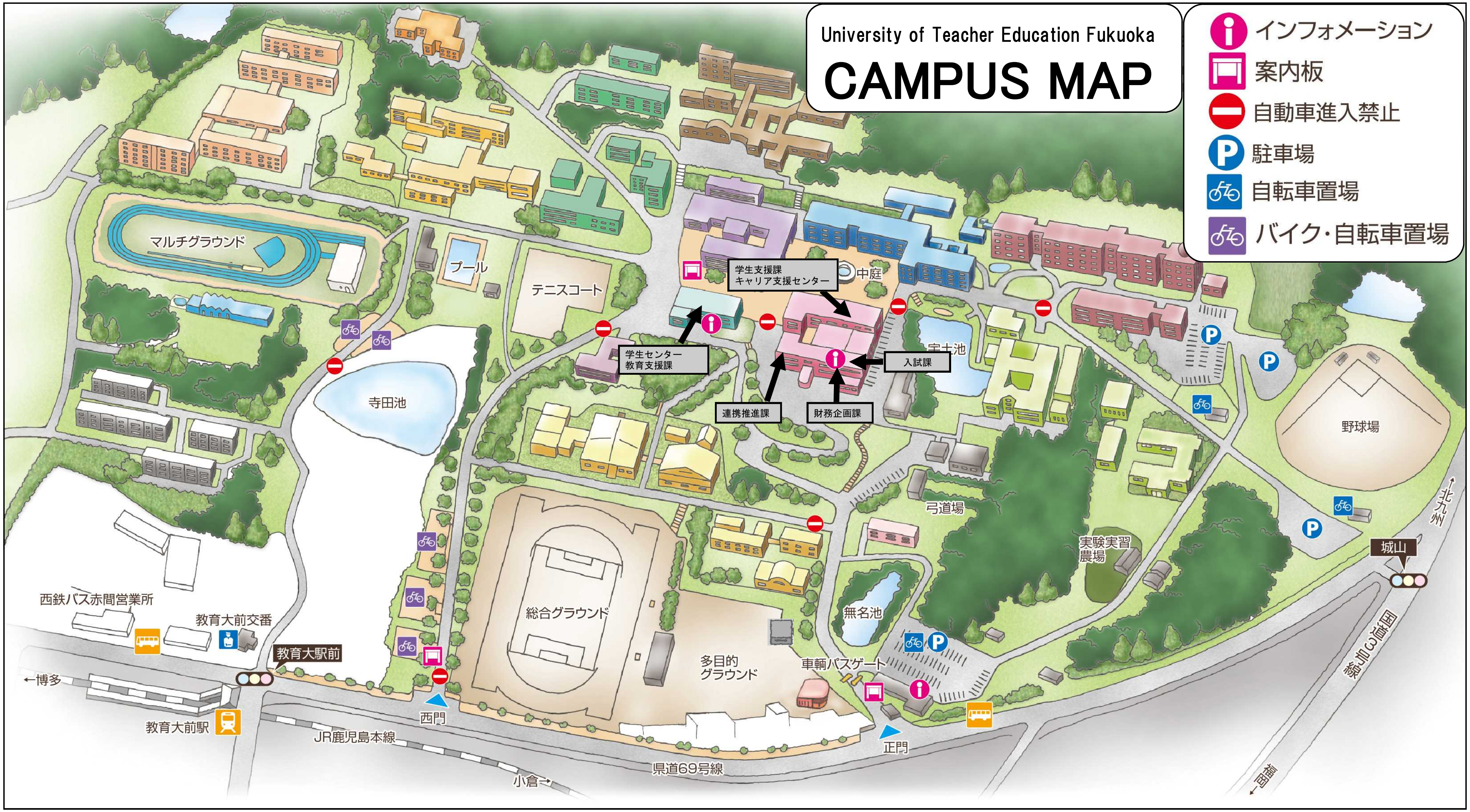


○西鉄バス利用の場合

・ 天神日銀前(19A) から西鉄バス赤間営業所行（急行）に乗車（約７０分）



【周辺道路地図】



福岡教育大学各種お問い合わせ先

●授業，カリキュラム，免許等について・・・・TEL：0940-35-1229（教育支援課）
●教育実習等について・・・・・・・・・・・・TEL：0940-35-1233（教育支援課）
●学生生活，課外活動，学生寮等について・・・TEL：0940-35-1754（学生支援課）
●奨学金，入学料，授業料減免等について・・・TEL：0940-35-1239（学生支援課）
●留学・国際交流について・・・・・・・・・・TEL：0940-35-1247（連携推進課）
●就職支援（教職関係）について・・・・・・・TEL：0940-35-1249（キャリア支援センター）
●就職支援（企業，公務員関係）等について・・TEL：0940-35-1241（キャリア支援センター）
●授業料等の納入関係について・・・・・・・・TEL：0940-35-1222（財務企画課）
●入試全般・・・・・・・・・・・・・・・・・TEL：0940-35-1235（入試課）